

室戸付近における昭和南海地震の揺れに関する体験談の収集

徳島大学大学院 正会員 ○ 三神 厚

1. はじめに

南海地震は 100 年から 150 年の周期で発生する海溝型の地震である。その断層面は、概ね 100km × 300km の広大な領域であるが、断層面全体から一様な地震波を出すわけではなく、アスペリティーと呼ばれる通常は固着していて地震時にすべると強い地震動を発生させる領域が支配的な影響を及ぼすと考えられている。また海溝型の地震では、このアスペリティーの位置には再現性があることがわかってきた¹⁾(ただし、いつもすべてのアスペリティーがすべるわけではない)。

発表者らは、これまで 1946 年の昭和南海地震について、高知、徳島、和歌山の幅広い地域から、聞き取りや文献調査により、約 200 の揺れに関する体験談を、特に揺れに着目して収集してきた。その結果、広大な南海地震断層面を取り巻く地域ごとに、地震動の強さはもちろん、揺れの時間的推移に関しても異なっていることがわかってきた^{2), 3)}。発表者らによるこれまでの調査では、高知県東部の室戸付近の体験談が皆無で、いわば体験談の「空白地帯」となっていた。今回、室戸付近で体験談を収集することができたので、ここではその結果を報告する。

2. 体験談聞き取りの方法**(1) 概要**

アンケートは 2010 年 1 月 12 日、高知県室戸市吉良川町老人憩いの家で実施した。70 歳から 92 歳(当時の年齢で 6 歳から 28 歳)までの 16 人の方の参加が得られた。

(2) アンケート項目

アンケート項目は以下の通りである。体験者がすでに高齢であるため、アンケート項目は極力シンプルなものとした。アンケート用紙を配布し、該当項目を選択、あるいは、自由に回答してもらう形式とした。

- (a) 名前と年齢
- (b) 地震を体験した地域
- (c) 地震の時にいた場所(建物の中、外など)
- (d) 地震の揺れの始まり方
- (e) 揺れの特徴： どのような揺れであったかを幾つかから選択してもらう形式
- (f) 地震の揺れが続いた長さ

3. 体験談の収集結果

アンケート結果を表 1 にまとめる。地震発生が朝 4 時 19 分であったため、多くの場合就寝中で、揺れの始まりがどうであったかについては不明確な場合が多いが、全体としては「気がついたら大きな揺れ」になっており、初期微動の時間は比較的短かったものと思われる。揺れの特徴としては、多くの人が主に横揺れを感じており、上下動の証言は少なかった。その他、口頭でのヒアリング結果も含め、この特色としては揺れは大きかったものの、吉良川町周辺では倒壊した家屋はほとんどなく、家の中で揺れが収まるのを待ち、その後、避難したとの証言が多かった。揺れの継続時間は長いようであったが、揺れの周期に関しては他の地域で聞かれるような「船に乗ったような周期の長い揺れ」に関する証言は聞かれなかった。なお、室戸町や吉良川町は 1959 年に合併し、現在は室戸市の一部となっている。

謝辞

室戸市吉良川町老人会の方々にはアンケートに協力して頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。

参考文献

- 1) 永井理子、菊池正幸、山中佳子：三陸沖における再来大地震の震源過程の比較研究 - 1968 年十勝沖地震と

表 1 昭和南海地震体験談の収集結果

	体験した地域	年齢(当時)	地震時にいた場所	揺れの始まり方	揺れの特徴	時間(分)
1	吉良川町	75(11)	建物 1F, 就寝中	ゴォーっと音がした．起きた時には大きな揺れ	主に横揺れ．家がギーギーと揺れた．障子が外れた．	5
2	室戸町	74(10)	建物の中, 就寝中	気がついたら大きな揺れ	主に横揺れ	-
3	-	70(6)	-	-	-	-
4	室戸町	74(10)	建物の中, 就寝中	よくわからない	地面が割れて歩きにくかった	-
5	安田町	82(18)	建物 1F, 就寝中	-	主に横揺れで, 揺れが収まってから逃げた	-
6	室戸町	77(13)	建物 1F, 就寝中	気がついたらゆらゆらして歩けなかった	主に横揺れ．襖が外れた．	-
7	奈半利町	83(19)	建物 2F, 就寝中	気がついたら義母が呼んでいたが, すぐに降りられなかった	主に横揺れだったが, 揺れが上下から左右, 上下へと変化した	-
8	室戸小付近	80(16)	建物 1F, 就寝中	揺れが突然やってきた	主に横揺れだった．立っていられなかった．	-
9	室戸町元脇地	75(11)	建物 1F, 就寝中	ゴォーっと大きな音がした．ガタガタと小刻みな揺れから始まった．	主に横揺れだった．	1～2
10	吉良川町	76(12)	建物 1F, 就寝中	突然の揺れ．ガタガタと小刻みな揺れ	主に横揺れだった．障子, 襖が倒れた．	3
11	室戸町	81(17)	建物 1F, 就寝中	揺れが突然やってきた	主に横揺れだった．	長い
12	奈半利町	82(18)	建物 1F, 就寝中	目が覚めたら大きい揺れ	主に横揺れだった．家がギーギーと比較的ゆっくり揺れた．	5
13	室戸以外	83(19)	-	揺れが突然やってきた	主に横揺れだった．	10
14	吉良川町	81(17)	建物の中, 就寝中	突然の揺れ．ガタガタと小刻みな揺れ	主に横揺れだった．	10
15	田野町	77(13)	建物 1F, 就寝中	ガタガタと小刻みな揺れから始まった	上下, 横揺れ, 上下から水平, 上下への変化あり	5
16	吉良川町	92(28)	建物 1F, 就寝中	突然の揺れ．ガタガタと小刻みな揺れ	主に横揺れだった．家がギーギーと音をたてながらしばらく揺れた	5

1994 年三陸はるか沖地震の比較 -、地震、第 2 輯、第 54 巻、pp. 267-280、2001．

- 2) 斉藤剛彦、三神厚、成行義文： 昭和南海地震体験談に基づく震源域各地の揺れと震源特性の関連についての考察、21 世紀の南海地震と防災、Vol. 3、pp. 59-66、2008．
- 3) 三神厚： 南海地震の震源特性を明らかにするための体験談の調査・収集、第 12 回建設事業の技術開発に関する助成事業・成果報告書、四国建設弘済会、pp. 1-46、2009．